

グリーンサプライ事業計画計画段階環境配慮書に対する市長意見

1 計画段階環境配慮事項「大気質」の環境保全対策について

本事業では、5万キロワット2基、1万キロワット1基の発電設備の建設が計画されている。規模の小さい1万キロワットの発電設備からの大気汚染物質の排出量は、5万キロワットの発電設備と比べて大きくなっているため、適切な排ガス処理施設の導入について検討を行い、大気環境への負荷を十分に低減すること。

2 方法書作成における留意事項

(1) 事業計画の具体化について

今回の配慮書では、本事業における復水器の冷却方式が明らかになっていなかったが、適切な環境影響評価の項目や手法の選定に重要な要素であるため、方法書は冷却方式を具体的に決定した上で作成すること。

(2) 環境影響評価項目・手法の選定について

方法書での環境影響評価の項目、手法の選定にあたっては、事業特性及び地域特性を踏まえたうえで、既存の環境調査結果等も参考にして、動物、植物、人と自然との触れ合いの活動の場、生態系等、幅広く検討を行うこと。

3 その他

本事業では、バイオマス燃料としてユーカリペレットを使用する計画となっているが、調達の持続性や多様な木質バイオマス活用の可能性について、事業者の考え方を方法書に明示すること。